

週間漁海況情報—第36号

平成25年9月17日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.9.17）を示した。

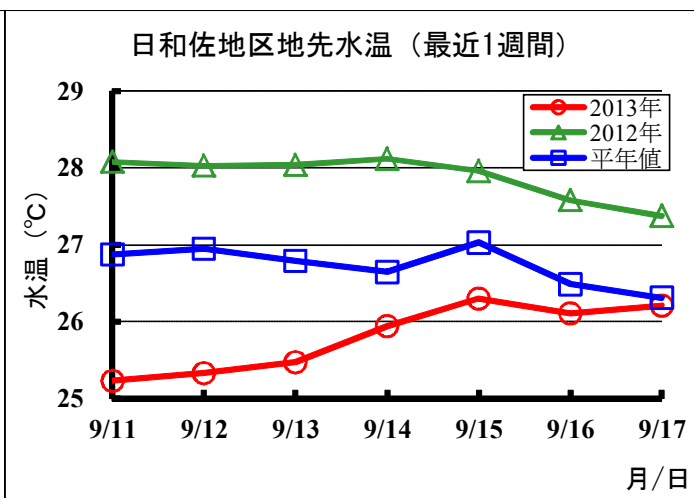
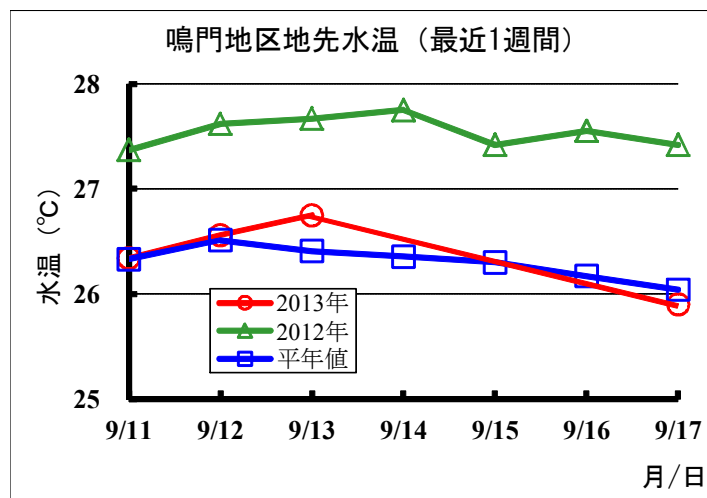
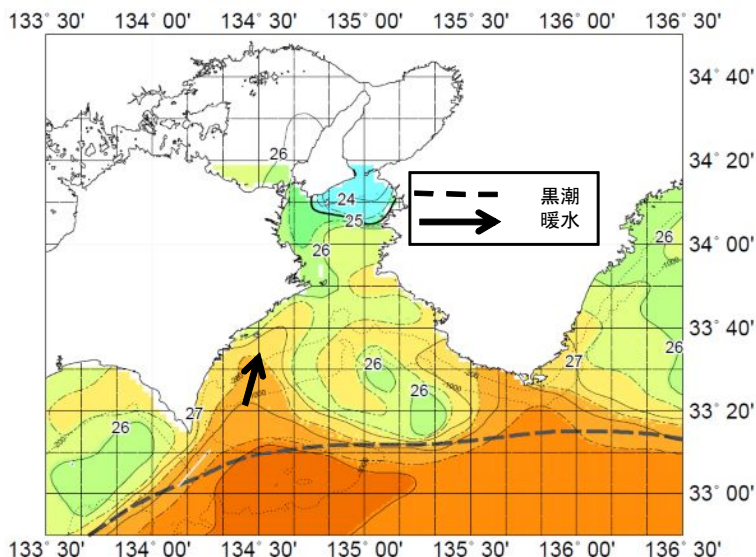
黒潮は、室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、28～29℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で25℃台、紀伊水道で23～26℃台、海部沿岸で25～27℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬側から海部沿岸に向けて暖水流入がある。

漁業調査船「とくしま」で9月9、10及び11日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、表層が「やや低め」の25.0℃、10～30m層が「低め」の22.8～24.4℃、50m層が「かなり低め」の19.1℃であった。

紀伊水道海区観測結果

観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
9/9, 10, 11	今年値	25.0	24.4	23.6	22.8	19.1	32.3	32.9	33.3	33.7	34.5
	平年偏差	-1.2	-1.5	-2.0	-2.4	-3.7	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4
	前年偏差	-2.7	-3.1	-3.8	-4.7	-7.1	0.9	0.7	0.6	0.7	0.8



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「低め」～「平年並」の25.9～26.8℃、日和佐地区は「低め」～「平年並」の25.2～26.3℃、牟岐地区は「かなり低め」～「平年並」の23.8～27.1℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にアカムツが0.5トン（1日1隻あたり17kg）、カワハギが0.4トン（同61kg）、中主体にキダイが0.3トン（同18kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが1.6トン（同26kg）、サバ類が0.5トン（同26kg）、ウルメイワシが3.6トン（同94kg）、マイワシが2.2トン（同154kg）、シイラが0.3トン（同23kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にイサキが0.6トン（同5kg）、紀伊水道で、中・小主体にサワラが0.8トン（同56kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが11.6トン（同125kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 9月9日～9月15日

漁業種類別集計表（延縄）

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1 日 1 隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	30	515	17	大主体
		カワハギ	7	430	61	
		キダイ	15	274	18	中主体
小型定置網		マアジ	62	1,643	26	小主体
		サバ類	18	460	26	
		ウルメイワシ	38	3,561	94	
		マイワシ	14	2,159	154	
		シイラ	12	280	23	
釣り		イサキ	114	617	5	中主体
	紀伊水道	サワラ	15	844	56	中・小主体
パッチ網		シラス	93	11,625	125	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の9月10日～9月16日には、海部沿岸では、延縄で、中主体にアカムツが0.6トン、大主体にゴマサバが0.3トン、大主体にキダイが0.3トン、小型定置網で、小主体にマアジが0.3トン、マルソウダが5.6トン、釣りで、小主体にキハダが0.2トン、大主体にタチウオが0.3トン、紀伊水道では、釣りで、サワラが0.8トン、パッチ網で、シラスが38.8トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖において、「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の25～26℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の25～26℃台で推移する見込み。